

令和4年度事業報告書

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

1 事業の成果

令和4年度は、「ボランティア体験学習推進事業（以下推進事業）」と「ボランティア体験学習情報事業（以下情報事業）」を2つの柱として事業を実施した。「推進事業」では、ふれあいボランティアパスポート事業は当年度もコロナ禍が続いたなかで、参加校・団体数を昨年より若干の減少に留め、各事業を実施することができた。

「情報事業」では、「佐賀県神崎市における実践・調査報告書」を作成し、全国から抽出した教育委員会70ヶ所の教育長に送付するとともに、全国の教育関係者・団体、約3万ヶ所に配布している月刊教育情報誌に紹介し、ボランティア体験学習の重要性を教育関係機関、教師等に周知することができた。Zoomによるオンライン・スクールボランティアサミットにおいては、学校教育の中で、特に総合的な学習の時間を通じたボランティア体験学習が有効であることを周知することができた。親子で“ちょいボラ”学習会は、コロナ禍になってから初めての実施であったが、幼児の親へ“ちょいボラ”の情報提供することの有効性を確認できた。また、ホームページに加えTwitterを開設し活動を発信するなど、積極的な情報発信を行うことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用額【1,863】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
遊びやボランティア活動、体験学習等を通じた青少年健全育成事業	1. ボランティア体験学習推進事業 (1) ふれあいボランティアパスポート (FVP) 事業 ① FVP参加校・団体の募集、実施 ・81校・6団体、児童生徒23,027人が参加 ・参加校・団体への継続的な働きかけ、実施のサポート	4月~3月	FVP参加の学校・団体	2人	FVP参加校・団体の教師、児童生徒	25,000人	1,174
	② ふれあいボランティア活動感想文事業 ・参加：小学校9校、高等学校2校、1団体 参加児童生徒数120人 ・表彰：大賞1人、小学生賞10人、高校生賞6人 受賞者（表彰状・缶バッジ・感想文集）、ふれあいシール（応募者全員）を贈呈 ・感想文集1,000冊を作成し、FVP参加校・団体等に配付	10月~3月	当法人事業所	5人	FVP参加校・団体の教師、児童生徒、保護者	1,000人	
	③ ふれあいボランティア体験学習推進学校・団体の表彰 ・小学校8校、中学校1校に表彰状を贈呈（感想欄の回収率100%以上の学校のみ） ※評価基準：感想欄の学校・団体の回収率で決定	3月	〃	2人	受賞校教員・児童生徒、保護者	3,000人	
	④ 親子で“ちょいボラ”学習会実施 ・小平市にて、第1回親子で“ちょいボラ”学習会開催 会場：小平市の幼稚園 参加人数：9人	4月19日	小平市の幼稚園	4人	幼稚園園児・保護者	100人	
フォーラムや講演会、研修会、コンサルティング、講師派遣等の普及啓発事業	2. ボランティア体験学習情報事業 (1) オンライン・スクールボランティアサミット (SVS) ・3月27日(月) 15:30~16:45 (会場：当法人事務所：Zoom使用) FVP参加校・団体、その他の教員、指導者を対象に、オンライン・スクールボランティアサミットを開催 日本生活科・総合的な学習教育学会顧問の専門家を講師に「新年度からのボランティア体験学習のすすめ」の講義、FVPの効果報告 参加：教員、社会福祉協議会職員等23人	3月27日	当法人事業所	3人	教師、社会教育指導者	2,000人	403
	(2) 青少年地域ボランティアサークル活動普及事業 (SVC) ・山形県青年の家の山形ネットクラブプロジェクト他SVCの情報を収集 ・日本青年館100周年記念行事にて青少年の地域活動の情報収集 ・社会教育関係者懇親の集い参加 文部科学省社会教育の推進と施策の動向など情報を収集	4月~3月 11月2日 1月30日	〃 日本青年館	3人	社会教育指導者	10,000人	
調査・研究・開発・提言事業	(3) FVPの調査・研究・開発・提言 (FVP) ・「FVPを活用したボランティア体験学習の効果—佐賀県佐賀県神崎市における実践・調査報告書」をまとめ、実践・調査報告書を1,000冊作成 ・実践・調査報告書を東北、関東、四国、九州地区の5万人規模の市町村の教育委員会70ヶ所に送付し、ボランティア体験学習の普及を提案。文部科学省、教育関係団体等に配布 ・文部科学省総合教育政策局を訪問し、実践・調査報告書内容を説明。ボランティア体験学習普及の協力を依頼	4月~3月 4月~3月 6月20日 2月20日	当法人事業所 〃 文部科学省	3人 2人 2人	教育委員会指導主事、教師、社会教育団体指導者	1,000,000人	210
	(4) FVPを活用したボランティア体験学習の情報発信 ・当年度のFVP参加校のボランティア体験学習の活動写真・情報をホームページに掲載して発信。また、Twitterを開設し、FVPやSVSなどの情報を発信 ・約3万ヶ所配布の教育関係者向け月刊誌に、実践・調査報告書概要と当法人事業紹介を執筆、掲載 ・FVPの実践・調査報告書のプレゼンテーション資料(第1次)を広報ツールとして作成。(3)のSVS等にて発表	4月~3月 11月15日 3月27日	当法人事業所 〃 〃	2人 2人 3人	ボランティア体験学習・FVPに関心のある教師、指導者 教育委員会指導主事、教師、社会教育指導者	2,000人 30,000人 2,000人	
		広報事業					
合計						1,863	

令和4年度 活動計算書（その他事業がない場合）

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

（単位：円）

科 目	金 額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		387,000
正会員受取会費	98,000	
賛助会員受取会費	289,000	
2 受取寄附金		1,342,749
受取寄附金	1,342,749	
3 受取助成金等		0
受取助成金	0	
4 事業収益		15,800
事業収益	15,800	
5 その他の収益		6
受取利息	6	
経常収益計		1,745,555
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		0
(2) その他経費		1,863,880
売上原価	24,355	
諸謝金	25,274	
印刷製本費	274,221	
会議費	0	
旅費交通費	11,674	
通信運搬費	203,847	
地代家賃	939,400	
水道光熱費	43,975	
消耗品費	23,003	
保険料	23,000	
リース料	7,920	
諸会費	60,130	
新聞図書費	2,343	
支払手数料	124,738	
支払寄付金	100,000	
事業費計		1,863,880
2 管理費		
(1) 人件費		0
(2) その他経費		28,376
印刷製本費	2,592	
旅費交通費	672	
通信運搬費	21,218	
消耗品費	1,694	
支払手数料	2,200	
管理費計		28,376
経常費用計		1,892,256
当期経常増減額【A】－【B】・・・①		-146,701
【C】 経常外収益		0
固定資産売却益		
過年度損益修正益		
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		0
固定資産売却損		
過年度損益修正損		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		-146,701
法人税、住民税及び事業税・・・④		0
前期繰越正味財産額・・・⑤		1,801,865
次期繰越正味財産額③－④+⑤		1,655,164

令和4年度 貸借対照表

認定特定非営利活動法人さわやか青少年センター

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	389,348	1,592,593
	青少年人間力育成事業用預金	500,235	
	棚卸資産	647,350	
	前払費用	55,660	
	流動資産合計・・・①		1,592,593
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		0
	(2)無形固定資産		0
	(3)投資その他の資産 敷金	140,000	140,000
	固定資産合計・・・②		140,000
【A】	資産合計 ①+②		1,732,593
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	77,429	77,429
	流動負債合計・・・③		77,429
2	固定負債		
	長期借入金	0	0
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		77,429
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	1,801,865	1,655,164
	当期正味財産増減額	-146,701	
	正味財産合計		1,655,164
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		1,732,593